

流体科学研究所 博士前期課程学生海外発表促進プログラム 報告書

報告日：平成 28 年 8 月 9 日

申請者氏名・所属・学年

嘉藤太河・工学研究科航空宇宙工学専攻・博士課程前期 2 年

指導教員名

下山幸治 准教授

国際会議名

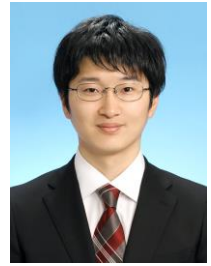
2016 IEEE World Congress on Computational Intelligence (IEEE WCCI 2016)

出張先と日程

24-29 July 2016, Vancouver, Canada

発表タイトルと著者

“Evolutionary Algorithm with Parallel Evaluation Strategy Using Constrained Penalty-based Boundary Intersection,” Taiga Kato and Koji Shimoyama.



1. 研究発表の内容

遺伝的アルゴリズムを用いた多目的最適化手法を工学に応用する場合、多数の制約を考慮する必要がある。そこで本研究では制約条件を有する最適化問題において優れた最適解を効率よく探索できる手法を提案した。提案手法をいくつかのテスト問題に適用し、既存の手法と比較することで、提案手法の優位性を示した。

2. 今回の出張・発表で学んだこと

本学会では新規アルゴリズム開発や実問題への応用事例など、幅広い発表が行われていたため、今後の研究に有益な知見を得ることができた。また、発表を通じて自分の英語力や類似研究に関する知識が不十分であることを痛感し、今後一層の努力が必要であると感じた。

3. 本プログラムへの提案・感想

国際会議に参加することで、世界の関心がどこに向かっているのか知ることができ、自分の研究の立ち位置について考えるきっかけとなった。国内学会では知ることができないような様々な研究に触れる機会を与えてくださった本プログラムの役割は非常に重要であると考えている。

4. 指導教員所見

本研究に興味を持つ世界各国の研究者が多く駆けつけて、発表を聴講していた。発表自体は、練習の成果もあって、非常に良くできていた。来場者からの質問の意味を理解することに苦労していたが、決して臆することなく、頑張って回答しようとする姿勢は評価できる。今回の経験を糧に、本研究を更に発展させ、次の発表機会に活かすことを期待している。

5. 発表時の写真など

